

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	511	施策	低炭素社会への転換の推進
管理事業	環境政策事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境政策室	事業名	環境政策事業
事業概要				
環境影響評価事務、環境マネジメントシステム運用、環境審議会運営、すいた環境サポーター養成講座運営、アジェンダ21すいた推進、地球温暖化対策新実行計画管理運用、吹田市地球温暖化新実行計画見直し、ESCO推進				
活動実績				
【ESCO事業実施による拡充】		年度		令和2年度
(1)ESCO推進事業		決算額(千円)	11,701	
市役所本庁舎ESCO事業提案募集を実施し、学識経験者等で構成される選定委員会において、事業者からの提案を審査し、最優秀提案者及び次点者を選定した。選定委員会の開催回数 2回		一般財源の比率(%)	0.0	
(2)環境マネジメントシステム運用事業		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
市の事務事業における地球温暖化対策実行計画である「SUITA MOTTANOCTIY ACTION PLAN (SMAP)」を策定し、市長をトップとしたSMAP推進本部会議において、職員に環境配慮に関する重点取組を決定するとともに、高効率型省エネ設備の率先導入や全庁LED化の方向性を決定しました。		令和3年2月に策定した「吹田市第2次地球温暖化対策新実行計画」に基づき、さらなる地球温暖化対策の推進を図る必要がある。		
(3)吹田市地球温暖化新実行計画見直し事業		今後の実施計画の方向性・内容		
平成27年度に策定した吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)について、社会的動向や環境の変化、本市の状況を踏まえて、効果的に施策を推進できるよう見直しを行い、令和3年2月に「吹田市第2次地球温暖化対策新実行計画」を策定しました。		継続		

2	所管室課	環境政策室	事業名	環境啓発事業
事業概要				
環境啓発				
活動実績				
市民・事業者に環境問題について理解と協力を求め、環境に配慮したライフスタイルの確立やより良い環境づくりに向けた意識の向上を図る。		年度	令和2年度	
(1)すいた環境教育フェスタ参加人数		決算額(千円)	123	
令和2年度(2020年度)		一般財源の比率(%)	100.0	
日時:令和3年3月17日～3月31日(ウェブ開催) 閲覧者数:1,757人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
(2)環境表彰・・・令和2年10月23日(金)環境表彰式(市役所全員協議会室) 1個人・6団体を表彰		市民、事業者、行政の協働により、さまざまな環境問題をテーマとした啓発イベント等を実施しているが、目に見える効果の検証が課題となっていたことから、令和元年度からはイベント来場者へのアンケートに会場前後の意識変化の質問を設けた。結果として来場者の行動変容の状況を把握することができ、効果の検証がしやすくなった。その結果をもとに、更なる内容の充実を図っていく必要がある。		
		今後の実施計画の方向性・内容		
		継続		

3	所管室課	環境政策室	事業名	環境まちづくり基金積立事業
事業概要				
環境まちづくり基金積立				
活動実績				
環境先進都市の実現に向けた環境施策の推進に係る経費を積み立てる。		年度	令和2年度	
(1)令和2年度積立額		決算額(千円)	137,748	
電力調達(R1.10～R2.9)の効果額の1/2		一般財源の比率(%)	99.1	
寄付金		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
森林環境譲与税執行残額		電力調達の効果額の積み立ては、令和2年度で一旦終了するが、今後は繰入計画において、基金残高が不足する見込みである場合、電力調達の効果額の1/2を上限に積み立てを行い、財源を確保する予定である。本基金を積極的に活用し、継続的かつ効果的な事業を展開することを検討する必要がある。		
合計		今後の実施計画の方向性・内容		
137,747,916円		継続		
(2)令和2年度末時点残高		344,513,241円		
(3)令和2年度繰入金		吹田市役所本庁舎ESCO事業者選定審査支援委託業務 4,000,000円		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名